

第59号

2018年(平成30年)

6月30日

発行

長房地域住民協議会

八王子市長房町506-2

八王子市長房市民センター

☎042(664)4774

(公財)八王子市学園都市

文化ふれあい財団



ふれあい



①薬王院、佐藤秀仁師の講話



④長房小学校の農園、最後の夏

長房話題 あれこれ

数字は掲載頁



②長房の庚申塔



③囲碁クラブ・長房囲碁同好会



③井上正芳さんの案山子アート

「ふれあい端午まつり」を振り返って

長房地域住民協議会

会長 松葉浩充

今年も大勢の方々のご協力を得て、昨年にも増して盛大に開催できました。

四月十五日からのこのぼりの掲揚は、例年のように保育園、幼稚園、老人ホームの方や遊歩道散歩の方々に新緑と合わせて楽しんでいただきました。

まつり期間中は各メディアでの紹介や市HPでの取り上げなど問合せも多く、来場者は過去最高だったと思います。

高尾山、薬王院佐藤教務部長のありがたい講話には、200名の方が聴き入っていました。富士森高校ダンス部、横山中学校吹奏楽部の公演はいつものように会場内が一体となつて元気と楽しさをもたらしました。公演後のカレライスはお代り続出で、手伝いの方もてんでこ舞い。舞踊もカラオケも参加者が増えて盛り上がりました。作品展も充実さを増していました。模擬店も連日、通行が困難な程の賑わいで楽しみ倍増でした。

子どもの日のイベントとしてセンター利用のモダンダンス、フラダンス、空手道の「子どもの演舞大会」を初めて行いました。PR不足もあり80名程の観客でしたが、出演した子どもたちの笑顔で好評でした。継続していきます。

従来からのふれあ水族館、よろい姿での写真、折り紙教室、フラワーアレンジメント、消防車で写真、お菓子やヨーヨーの無料配布なども好評でした。

このイベントが継続できているのは、住民協メンバー、各町会・自治会からの協力者、安全協議会の皆さん、富士森高校のボランティア部の生徒さん、新地町会の皆さん、市民センター職員、更に今年は地域の若者、消防団員の参加もあり大きな戦力でした。延べ協力者は850名でした。

ありがとうございます。理事会での反省や皆さんからの声をお聴きして、これからは安全に継続していけるよう進めて行きます。

★市民センターのホームページができました。「長房市民センター住民協議会だより」で検索してください。



長房
周辺
散策記・25

長房の庚申塔

長房町会 伊藤 完

庚申塔とは

今まで散策記で紹介してきましたが長房には鎌倉街道山の道(秩父道とも呼ばれた)、甲州街道の支道で船田廿里道など古道が通っています。庚申信仰・庚申講は平安時代から貴族・武士の信仰でしたが、江戸時代中期頃に民衆に浸透しました。

そもそもは中国の道教で、青面(しようめん)金剛をまつり仏教と同化し、猿田彦の神話が加わり神道にも同化しました。

道教では人の体内に三戸(さんし)という虫のような魂が宿り、60日に1度庚申の夜中に宿主の悪さを閻魔大王(天帝)に告げ口するそうで、集落の人達が集まり夜通し起きて三戸が出ないように見張る



中郷の庚申塔

のだそうです。それが庶民の娯楽(呑み会)に変化し、ご婦人方の集まりは現代の婦人会の始まりだといわれています。

そして講が行われ、集落の入り口や街道の道端に塔を建てるようになりました。そして道案内(道標)にもなりました。

中郷の庚申塔

古道橋から御陵に向かうハケの上に2塔あります。榎木と桜の下は良く見えませんが嘉永二年(1849)乙酉十一月と読めると思います。

隣りの屋根付き右側の塔は大きく立派で、ここに移されたものと推測します。安永七年(1778)とあり田沼意次が老中の時に造られたものです。



中郷、長泉寺の庚申塔

町会・自治会のサロン活動紹介④ 長房西団地サロン「長房」



毎月第1、第3土曜日の午前11時から午後2時まで、都営長房西団地集会所でサロン「長房」が開かれています。第1週はトースト(味卵、バター、ジャム)付き、150円。第3週はカレーライス、250円。コーヒール、紅茶が100円。カレーが美味しいと評判です。毎月だいたい20人から30人が訪れます。「孤独死をなくそう」と、サロンを始めて5年になります。近



隣の人たちとの繋がりを大事に、皆さんに喜ばれています。サロン「長房」は会員だけでなく他の団地の方もおしゃべりをしながら誰でも参加できます。今では隣近所の方々が口コミで来てくれます。サロンを立ち上げたときは7人でしたが、現在スタッフは6人です。最年長の上原信夫さん(90歳)は朝は早朝ラジオ体操、サロンのある時は9時半にはエプロン姿で準備に取り掛かります。「俺はまだやれるよ」と静かな口調で語りました。西団地連合 小岩 博



三軒在家の庚申塔

中央に青面金剛、像台座に三猿が見えます。次に長泉寺の東側屋根付きの所に安永二年(1773)とある塔です。これも青面金剛・三猿がついています。

三軒在家の庚申塔

三軒在家稲荷の鳥井の近くにあり、文字で庚申塔とかか

船田の庚申塔

船田の通りに2塔あります。山王神社の階段の下の塔は傷んでいますが青面金

「長房ふれあいウォーク」へのお誘い

4回目になりますが「長房周辺散策記」読者の方をお誘いして、歩きながら今までの記事内容をご案内します。

- 予定日時 9月8日(土)、9時~12時
- 雨天延期(市民センター内に掲示でご案内)
- コース 市民センターに集合して、人形塚公園、白百合幼稚園入口からうぐいす台の坂を登り、吉祥院、龍泉寺を巡り、長房1丁目1番地よりセンターに戻ります。
- 参加自由、無料、予約不要(センターに9時までにお集まりの方をメンバーといたします。資料を用意します。)
- 歩きやすい服装、履物、飲み物をご用意下さい。
- 長房住民協議会活動として、ご案内は『ふれあい』編集委員の伊藤完(Tel.664-2062)が担当します。

私の趣味

『ナニコレ珍百景』も取材に来た案山子アート

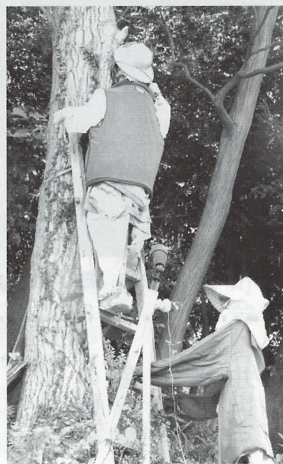
船田町会 井上正芳さん



「農作物もあるし、鳥骨鶏も飼育しているから始めはイタチやタヌキの獣害対策で作ったんだけどあまり効果ないね。いまは実益よりほとんど趣味というところだね」

この10年で50体以上の案山子を作ったという井上さん、畑の案山子は夜になるとライトアップされ、鳥小屋の10メートル以内に近づくと犬の吠え声や銃声が鳴り響く警報装置も設置してあるといいます。

「役に立つと言えば目印だけだね、みんな



案山子を目印にうちにやってくる。遠くからはるばる見物にやってくる人もいます」

4年ほど前にテレビ朝日が『ナニコレ珍百景』という番組の取材で来たことがあったそう

です。井上さんは番組スタッフに2日かかりで協力しましたが、残念ながらその時の映像は放映されなかったようです。

毎年6月になると井上さんの畑は地域の子供会の児童や幼稚園児に解放され、ジャガイモ掘りで賑わいます。

「先日小学3年生のクラスの授業で『農家のお仕事』という話をしたいと頼まれたんだけど、生徒の質問がみんな案山子のことばかりで参っちゃったよ」

船田町会 平田哲男

センター利用グループの紹介⑥ 囲碁クラブ 長房囲碁同好会

「以前は近くのふれあい館を利用していたのですが、駐車場や、部屋の使用料などの関係でこちらに移ってきました」と会長の高橋俊之さん。毎週日曜、1時からの活動だそうです。この日は12時過ぎにもう何人かの人が準備を始めていました。「この会主催で9月30日には市内に11ほどある囲碁の同好会の大会を開く予定です。当日はセンターのほとんどの室を使う予定です」

この会の特色を伺うと、「碁の同好会はどこも女性が少ないのですが、うちは1割以上が女性です。皆さん強いですよ」とのことでした。



船田の庚申塔

剛・三猿が見えますが、年号は〇〇六年としか見えません。もう一つは船田会館の前です。文政三年(1820)庚辰とありました。文字に特徴が

あります。(一頁参照) 皆さんもこの石塔を探しながらの散歩はいかがでしょう。

平成30年 ふれあい端午まつり、ご祝儀芳名 (敬称略)

- 高齢者在宅サービスセンター長房 ■八王子商工会議所 ■紅オト販売(株) 長 堀上則夫 ■手塚順子 ■長房自治会会長 小見吉男 ■長房西団地寿会
- 東一号楼自治会 ■長房ジャガーズ ■民生児童委員 宇田友子 ■船田町会 小原 文 ■森 修三 ■長房絵画会一同 金沢彩雲 ■長房団地友の会会長 伊藤圭一 ■船田友愛会代表 津田昭一 ■山百合体操クラブ ■白雪会 富田 登志子 ■山田栄津子 ■桑原 廣 ■台町市民センター住民協議会会長 清水 努
- 西山弓子 ■なでしこ 西アバウト ■八王子市長房子ども育成会 ■ピユウ ティゆうゆう ■浅川地区住民協議会会長 串田孝義 ■横山南住民協議会会長 宮野光夫 ■小島三女子 ■新地町会 ■並木町2丁目町会会長 小澤一紘
- 中込義弘 ■八王子いちよう祭り祭典委員会会長 佐々木研吾 ■長房台 高橋 繁
- 八王子市長房郵便局長 浅原卓史 ■阿川 敏枝 ■匿名 ■長房自治会 松葉浩充 ■並木町郵便局長 福嶋浩之 ■セントベル幼稚園 ■坂爪十郎
- 榎新和社長 堤政三郎 ■榎東朋社長 鷹取久長 ■三軒在家万会 ■増田屋
- 長房どんと焼きの会 ■長房町会会長 生永恭博 ■女性防火協会第9支部長 伊藤ミチ子 ■横山北町会自治会連合会 ■いなもり保育園 ■小川三重子
- (公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団理事長 三浦眞一 ■市川嘉一
- 平田征哉 ■近藤内科医院院長 近藤一英 ■セレモア八王子本社社長 粕谷 良
- 長房自治会二部 天野捷一 ■大和田地域住民協議会 ■リサイクルタカラヤ 山下昭八 ■チジミの店 ■黒沼自動車修理工場 ■居酒屋 土提

長房小学校の農園、最後の夏



学校に隣接する都営団地の跡地を、農園として借りられないかと、学校運営協議会が都と交渉を始めたのは7年前の夏でした。そして約1000㎡(300坪)を無償で借用でき、多くの人たちの手助けにより徐々に農園らしくなってきました。最近では収穫されたものが給食の素材としてもよく使われるようになっていました。

残念ながら、この土地もいよいよ次の利用計画が決まるようで、今年の8月で都に返却となりました。児童に大地の力と命の不思議や大切さを体で知ってもらい、地域の交流に大きな役割を果たしてきた活動にピリオドが打たれようとしています。出来れば、次の計画の中で、農園が学校と商業施設の「緩衝地帯」として位置づけられ、地域の皆さんに守られたらと願わずにいられません。

西団地連合 西山典明



子どもたちに超人気のふあふあ水族館



「男の子に負けない」ヨロイカブト姉妹



フラダンスショー一番待ちの踊り子さん



富士森高校ボランティア部の生徒



95歳の佐藤甲子雄顧問、お元気です



ベテランには、テープ、花束、おひねりが

端午まつりこぼれ話

- 4月9日、住民協役員が体育室でこいのぼりの整理。川渡し用、竹ざお用などの大きさや色の組み合わせ、修理などを実施しました。
- こいが落ちている、竹が折れているなどの連絡後、届けて下さる方もいます。その都度戸井田さんには大変な苦勞をかけています。
- 気が付きましたか。陵南公園内に泳ぐ5本の鯉のぼりが。公園と共同の作業です。
- 時期が近づくと横山橋からセンター前までの道路の草取りを、顧問の佐藤甲子雄さんが毎年やって下さっています。頭が下がります。
- 当日は車での来場者が多く毎年の悩み。今年に限ってセンター近くの住宅建設予定地を、使わせてもらえましたので大助かりでした。来年は使えません。何かお知恵は？ 駐車場の連絡にトランシーバーは効果的でした。
- 作品展会場では写真や絵画、手芸品を評価する声が多々ありました。会場作りも良好です。
- 5日の子ども演舞大会で「これこそ子どもまつり」と言われた方がいました。来年はもっとやろうと思った次第です。
- 折り紙教室では来られた方から「昨年楽しかったので今日を待っていました」と言われて大変喜び「是非一緒にやりましょう」と返事をしていた折り紙同志会の皆さんでした。
- 富士森高校ボランティア部の生徒さんから、「日差しが強く、麦わら帽子が足りない」との連絡、急遽センター職員に買いにいつてもらいました。
- ふあふあの会場では、子どもの入れ替えなどで係がつきっきりの状況。日陰が少なく休憩もままならない様子。入口を支える労力も大変。参加した子どもは延べ880名でした。